

## 2 推進のための取組・事業一覧

★現計画(札幌市健康づくり基本計画 健康さっぽろ21)最終評価には掲載していないが、札幌市健康づくり基本計画 健康さっぽろ21(第二次)で新たに掲載している事業

### (1) 栄養・食生活

#### 目標：よい食生活を進める

事業名	概要と実績								
食育推進会議	「札幌市食育推進会議」では、食育推進計画の策定、その進捗に関すること等を審議しています。委員は、学識経験者、食に関係する団体の代表者、市民委員で構成されています。(保健所)								
食生活指針の推進	「健康」分野に加えて、「地産地消」や「環境に配慮する食生活」などの「食育」の観点を取り入れた「札幌市食生活指針」の普及・啓発及び、指針の具体的な取組を示した「札幌市食生活指針ガイド」を作成し、食育の普及啓発事業に取り組んでいます。(保健所、各区保健センター)								
栄養推進連絡会議	食育の推進のために、庁内の栄養関係者の連絡会議を開催し、野菜摂取強化事業や食生活改善普及運動などを関係局と連携を図りながら実施しています。(保健所)								
野菜摂取強化事業	市民に野菜摂取の喚起を図ることを目的として、8月を野菜摂取強化月間、『毎月、「1日」は、野菜の日』と定め、市内の給食施設やボランティア団体、野菜販売店等・大型スーパー等と連携し、普及啓発等に取り組んでいます。(保健所、各区保健センター)								
栄養相談と栄養講習会	管理栄養士が個々人に応じた適正な食生活を支援するための個別の栄養相談と、離乳食などの子どもの食生活に関する講習会や糖尿病などの生活習慣病を予防するために食生活について学ぶ栄養講習会を実施しています。(各区保健センター)								
	H24 年度実績値								
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">個別栄養相談</td> <td style="text-align: right;">40,898</td> <td style="text-align: right;">人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">栄養講習会 実施回数</td> <td style="text-align: right;">1,360</td> <td style="text-align: right;">回</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">参加者数</td> <td style="text-align: right;">41,930</td> <td style="text-align: right;">人</td> </tr> </table>	個別栄養相談	40,898	人	栄養講習会 実施回数	1,360	回	参加者数	41,930
個別栄養相談	40,898	人							
栄養講習会 実施回数	1,360	回							
参加者数	41,930	人							
健康教育	生活習慣病の予防、健康増進等に関して知識経験を有する管理栄養士を講師として栄養教室を開催しています。(各区保健センター)								
	H24 年度実績値								
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">一般健康教育 実施回数</td> <td style="text-align: right;">312</td> <td style="text-align: right;">回</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(栄養・食生活) 受講者数</td> <td style="text-align: right;">7,272</td> <td style="text-align: right;">人</td> </tr> </table>	一般健康教育 実施回数	312	回	(栄養・食生活) 受講者数	7,272	人		
一般健康教育 実施回数	312	回							
(栄養・食生活) 受講者数	7,272	人							
特定給食施設指導	市内の※特定(多数)給食施設である病院、事業所、幼稚園等の約600施設の施設管理者等に対して、保健所の栄養指導員が栄養管理指導を行うとともに、健康づくりに係る啓発事業を行っています。(保健所)								
	※特定(多数)給食施設とは、特定かつ多数の人に対して1回50食以上、または1日100食以上継続して給食を提供している施設								
	H24 年度実績値								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">指導回数</td> <td style="text-align: right;">623</td> <td style="text-align: right;">回</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">指導施設数</td> <td style="text-align: right;">948</td> <td style="text-align: right;">か所</td> </tr> </table>	指導回数	623	回	指導施設数	948	か所			
指導回数	623	回							
指導施設数	948	か所							
外食・加工食品の栄養成分表示普及事業	市民自らが健康づくりを行うために外食や加工食品の栄養成分表示により、適正な情報提供を行うことが必要となっています。表示を普及させるために関係業者に対し、表示の普及啓発と方法等の指導を行っています。また、市民に対しては、表示された栄養成分の理解促進に向けた啓発事業を行っています。(保健所、各区保健センター)								
	H24 年度実績値								
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">栄養成分表示の店登録数</td> <td style="text-align: right;">1,601</td> <td style="text-align: right;">店</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">加工食品等指導・相談件数</td> <td style="text-align: right;">72</td> <td style="text-align: right;">件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">市民啓発人数</td> <td style="text-align: right;">4,722</td> <td style="text-align: right;">人</td> </tr> </table>	栄養成分表示の店登録数	1,601	店	加工食品等指導・相談件数	72	件	市民啓発人数	4,722
栄養成分表示の店登録数	1,601	店							
加工食品等指導・相談件数	72	件							
市民啓発人数	4,722	人							

ここから健康づくり応援団（札幌市栄養成分表示の店）	「ここから健康づくり応援団」では、エネルギーなどの栄養成分表示を継続して3メニュー以上実施している外食料理店等を栄養成分表示の店として登録しステッカーを配付するとともに、ホームページ「食育情報」に店舗名等を掲載しています。（保健所）
	H24 年度実績値
	登録店舗数 1,601 店
★ヘルシーメニュー事業	市民が栄養に配慮した食事を選択できるよう、「栄養成分表示の店」推進事業の一環として、ヘルシーメニューを提供する外食料理店を増やす等、食環境整備に取り組んでいます。（保健所、各区保健センター）
	H24 年度実績値
	ヘルシーメニュー提供店舗数 68 店
エコクッキングの推進	健康と環境に配慮した食生活を進めるために、「エコクッキング」の普及啓発を行っています。（保健所、各区保健センター）
	H24 年度実績値
	開催回数 402 回 市民参加数 10,659 人
親子料理教室	幼稚園児・小・中学生とその保護者を対象として、親子が健康づくりのための食生活を学ぶ料理教室を、学校等で行っています。（各区保健センター）
	H24 年度実績値
	開催回数 37 回 市民参加数 1,012 人
マタニティクッキング教室	初妊婦とその配偶者を対象に、妊娠中の食生活の重要性を普及啓発するとともに、生活習慣病を予防する食生活について学ぶ料理教室を実施しています。（各区保健センター）
	H24 年度実績値
	開催回数 63 回 市民参加数 633 人
男性の料理教室	健康に関する食生活を学びながら調理の実践を促し、地域の自主活動グループ等へ参画していくこと等を目的として、「男性の料理教室」の開催や、男性料理グループの活動支援等を行っています。（各区保健センター）
	H24 年度実績値
	開催回数 112 回 市民参加数 1,793 人
健康料理フェスティバル	健康的でバランスの良い食生活を進めるために、札幌市調理師団体連合会との共催により、市内のホテルを会場として、年1回、健康料理フェスティバルを開催しています。（保健所）
食生活改善推進員養成事業	食生活の地域改善活動推進の担い手である食のボランティアの食生活改善推進員を養成するため、所定のカリキュラムに基づく養成講座を実施しています。（各区保健センター）
	H24 年度実績値
	推進員数 1,596 人 修了者数 157 人
食生活改善地区組織活動の支援	食生活改善推進員が、健康づくりに役立つ調理実習等を含む講習会や食生活改善展などの活動をするための支援をしています。（保健所・各区保健センター）
	H24 年度実績値
	食生活改善展 実施回数 23 回 参加者数 6,286 人 栄養講習会 実施回数 520 回 参加者数 21,078 人

高齢者の食生活指針の推進	管理栄養士が介護予防の観点から、65歳以上の方を対象とした「高齢者のための食生活指針」を作成し、食育の啓発に取り組んでいます。（保健所、各区保健センター）
★高齢者栄養改善教室 （二次予防事業）	管理栄養士や看護師などの専門職員が、元気であるために必要な栄養・食事について楽しく学ぶ教室を開催しています。
	H24 年度実績値
	実施回数 35回 参加人数 9人

## （２）身体活動・運動

### 目標：積極的に身体を動かし、運動習慣を身につける

事業名	概要と実績
健康づくりセンター	医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士などの専門スタッフが、健康診断や体力測定などの結果を基に、生活・運動・栄養指導などを通じて、個人に合った健康づくりの実践プログラムを提供しています。
	H24 年度実績値
	中央健康づくりセンター 83,200人 東健康づくりセンター 38,102人 西健康づくりセンター 121,083人
★健康づくりサポーター等 派遣事業	市民の自主的な健康づくりを推進するため、健康づくりを目的とした地域の自主活動グループに健康づくりについて助言、指導を行うサポーターを派遣し、地域の健康づくりグループの主体的な活動を支援しています。
	H24 年度実績値
	サポーター登録数 29人 派遣実施数 30回
ウォーキング実践指導ボランティア研修	健康づくりに取り組む市民を対象に、交流会及びウォーキング指導者としての知識や技術を学習する「ウォーキング実践指導ボランティア研修」を実施し活動を支援しています。
	H24 年度実績値
	受講者数 54人
市民交流ウォーキング大会	平成 20 年度からウォーキング実践指導ボランティア研修受講者が中心となり全区のボランティアが協力して「市民交流ウォーキング大会」を年 1 回、開催しています。
	H24 年度実績値
	参加人数 293人
★ウォーキング推進キャンペーン	運動習慣の定着を目指し、ウォーキングマップの作成、普及啓発等を通し幅広い年齢層が気軽に取り組めるウォーキングを推進しています。
転倒予防教室	高齢者の転倒を予防するため、介護予防センターで転倒を予防するための体操などの介護予防教室を開催しています。
	H24 年度実績値
	実施回数 868回 参加者数 14965人
さっぽろウィンターキャンペーン	雪道転倒防止と札幌らしい冬の暮らし方を市民とともに考え、作り上げていくために、札幌市のほか、開発局や NPO 法人、民間企業などで推進協議会を設置して、ホームページを作成し、イベントや教室などのさまざまなキャンペーン活動を行っています。
	H24 年度実績値
	イベント回数 1回 参加者数 32名

健康教育	各区保健センターでは、生活習慣病の予防、健康増進等に関して知識経験を有する医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等を講師として保健教室を開催しています。
	H24 年度実績値
	一般健康教育 実施回数 71回 (運動) 参加者数 2,659人
★介護予防教室 (一次予防事業)	高齢者の閉じこもりを予防するため、介護予防センターが軽い体操や講話、交流会などの教室を開催しています。
	H24 年度実績値
	実施回数 2,856回 参加人数 48,264人
★公式ホームページの充実	スポーツをしている人をはじめ、これからしてみたい人と思っている人やスポーツに興味のなかった人にとっても、必要な情報を手に入れることができるように、利用者視点で内容の見直しを図ります。 (現在策定中の札幌市スポーツ推進計画の計画期間で実施予定)
★地域スポーツ応援サイト「さぼスポネット」	体育振興会等の地域スポーツクラブの活動情報が検索できるインフォメーションシステムとして、さっぽろ地域スポーツ応援サイト「さぼスポネット」を積極的に活用し、地域スポーツクラブの活性化を図り、市民が身近な地域で気軽にスポーツ活動ができる環境をつくります。
★「ウォークさっ歩ろ」によるウォーキング情報の集約、発信	ウォーキングを通じて、市民がいつまでも元気であり続け、札幌が「歩きやすい街」、「歩いて楽しい街」、「歩きたくなる街」として、国内外に広く知られるようになることを目標として、公式ホームページ内で、各区のウォーキングマップや関連イベント等の情報を掲載します。
★スポーツ推進委員の活動促進	スポーツ大会やイベントの実施にあたり、スポーツ推進委員を積極的に活用するとともに、研修の実施や研究協議会への参加等により企画・運営のスキルアップを図り、地域スポーツの活動を促進します。
	H24 年度実績値
	委嘱人数 260人 (H25.3.31 現在) 研修実施回数 3回
★学校体育施設開放事業	学校教育に支障のない範囲で小中学校の体育施設(体育館、格技室、グラウンド、プール)を市民の皆様に開放し、市民が自主的なスポーツ活動ができる環境をつくります。
	H24 年度実績値
	体育館開放校数 284校 グラウンド解放校数 55校 延べ利用者数 1,417,741人
★オリンピックズキャラバン事業	オリンピック選手等を活用した体験会等を実施し、市民がスポーツをするきっかけづくりと町内会等の地域諸団体の活性化につなげます。 (平成 25 年度新規事業)
★地域スポーツにぎわい促進事業	「さっぽろ地域スポーツにぎわい促進委員会」を設置し、各地域におけるスポーツ活動の活性化に向けた、具体的な施策を検討します。
	H24 年度実績値
	市民 3,000 人を対象にアンケート調査を実施 「体育振興会」に対し、アンケート・ヒアリング調査を実施
★地域スポーツマスター活用事業	中学校スキー学習の実施校数の維持と地域コミュニティの活性化を目的とし、学校や地域諸団体と連携して、地域のスポーツ指導者としての人材を掘り起こすとともに、中学校スキー学習に派遣します。 (平成 25 年度新規事業)

★ウインタースポーツキャラバン	地域の公園等に用具や指導者を配置し、冬季に屋外で遊ぶ機会が減っている子どもたちに、雪遊びやウインタースポーツを体験する機会を提供し、ウインタースポーツに親しむ習慣づくりを行います。	
	H24 年度実績値	
	実施会場数 参加人数	10 会場 1,540 人
★アスリートによる出前授業～ようこそ！ユキセン～	小学校にウインタースポーツのアスリートを派遣し、アスリートとの触れあいやスポーツ体験により、子ども達のウインタースポーツへの興味関心を高め、日常化への契機とします。	
	H24 年度実績値	
	参加人数	201 人
★歩くスキー出前授業	歩くスキー授業を実施する学校を対象に、クロスカントリースキーの指導者を派遣し、子どもたちにウインタースポーツの楽しさや喜びを伝えることにより、ウインタースポーツに親しむ習慣を育てます。	
	H24 年度実績値	
	実施校数 参加者数	10 校 775 人
★スポーツ少年団活動支援	青少年スポーツの技術力向上及び底辺拡大を図るとともに、スポーツ活動を通じて青少年の健全育成を目的に活動している札幌市スポーツ少年団を支援するため、団体運営、各種事業の実施にあたり補助金を交付します。	
	H24 年度実績値	
	団体数 参加人数	362 団体 (H24.4.1 現在) 7,565 人 (H24.4.1 現在)

### (3) 休養

目標：睡眠と休養を十分にとる

悩みを一人で抱え込まず相談できる

事業名	概要と実績	
健康教育	各区保健センターでは、健康増進等に関して知識経験を有する医師・保健師等を講師として健康教室を開催しています。	
	H24 年度実績値	
	一般健康教育 (休養) 実施回数 参加者数	2 回 88 人
札幌こころのセンター (札幌市精神保健福祉センター)	精神保健に関して、心の病の予防から精神障がいのある方の社会参加まで、幅広い活動支援を行っており、心の悩みや病について相談を受けている関係者に対し、研修の実施や情報提供をしています。また、思春期、ひきこもり、アルコール及び薬物関連問題などの特定相談を受けています。	
	H24 年度実績値	
	相談件数	22 件
	思春期 ひきこもり 薬物問題 アルコール問題	24 件 6 件 5 件
心の健康相談・電話相談	精神疾患や心の悩み、対人関係などでお困りの方や家族に対して、療養方法や日常生活の相談を行っています。(札幌こころのセンター)	
	H24 年度実績値	
	相談件数	5683 件

精神科救急情報センター	夜間や休日に緊急の精神科医療を必要とする方からの電話相談を受け付け、病院との連携などのトリアージを行います。	
	H24 年度実績値	
	相談件数	4366 件
すこやか倶楽部	高齢者を対象に、転倒予防や体力増進のための体操、各種レクリエーション、交流会などを地域やボランティアの協力のもと実施しています。	
	H24 年度実績値	
	参加者数	34623 人
★ゲートキーパー研修	自殺問題に関心のある市民や、自殺のハイリスク層と関わる支援者等を対象に、悩んでいる人に気づき、声をかけ、傾聴し、必要な支援につなげて見守るというゲートキーパーの役割を担える人材を養成します。	
	H24 年度実績値	
	専門職対象	実施回数 5 回 参加者数 742 人
	一般市民対象	実施回数 1 回 参加者数 111 人
★かかりつけ医によるうつ病対応力向上研修	精神科医以外の医師・産業医を中心としたかかりつけ医が地域でうつ病の早期発見・早期対応を行うために、うつ病診療の知識・技術及び精神科等の専門医との連携方法を習得する研修会を北海道、北海道医師会と共同主催にて実施しています。	
	H24 年度実績値	
	実施回数 参加人数	年 1 回 参加者数 91 人

#### (4) 飲酒

##### 目標：飲酒に関する知識を身につけ行動する

事業名	概要と実績
健康教育	各区保健センターでは、生活習慣病の予防、健康増進等に関して知識経験を有する医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等を講師として保健教室を開催しています。
★地域職場連携事業	総合的な自殺予防活動の支援を強化するために断酒会等と連携し、「自殺予防」や「アルコール依存症に関する正しい知識の普及等」をテーマとした講演会を開催しています。
	H24 年度実績値
	講演会開催回数 参加人数

#### (5) 喫煙

##### 目標：受動喫煙を防ぐ

##### 禁煙に取り組む

事業名	概要と実績
受動喫煙防止対策ガイドラインの普及	市民、事業者、行政が一体となって受動喫煙防止対策に取り組むため、「受動喫煙防止対策ガイドライン」を作成し、普及啓発を行っています。(保健所)



ここから健康づくり応援団（禁煙・完全分煙施設）	「ここから健康づくり応援団」では、札幌市受動喫煙防止対策ガイドラインに沿って、禁煙・完全分煙している企業・商店にステッカーを配付するとともに、ホームページ「健康さっぽろ21」上に店舗名等を掲載しています。	
	H24 年度実績値	
	禁煙・完全分煙施設 登録数	577か所
さっぽろMU煙デー推進事業	平成22年10月から毎月3日を「さっぽろMU煙デー」とし、喫煙者、非喫煙者を含む全ての市民を対象とする受動喫煙防止キャンペーンを実施しています。	
	H24 年度実績値	
	イベント実施回数	8回
	参加者数	16,634人
健康教育	各区保健センターでは、生活習慣病の予防、健康増進等に関して知識経験を有する医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等を講師として保健教室を開催しています。	
	H24 年度実績値	
	一般健康教育 実施回数 (たばこ) 参加者数	17回 458人
禁煙週間	世界禁煙デーに始まる禁煙週間に各保健センターでは、各種イベント、パネル展等を実施し、禁煙に係る知識の普及・啓発事業を実施しています。	

## (6) 歯・口腔の健康

### 目標：生涯にわたり健康な歯と口を保つ

事業名	概要と実績	
健康教育	各区保健センターでは、生活習慣病の予防、健康増進等に関して知識経験を有する医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士、歯科衛生士等を講師として保健教室を開催しています。	
	H24 年度実績値	
	一般健康教育 実施回数 (歯の健康) 参加者数	5回 67人
	集団健康教育 実施回数 (歯周疾患健康教育) 参加者数	10回 401人
歯周疾患検診	40歳、50歳、60歳、70歳の人を対象に、札幌市指定の歯科医療機関で問診・口腔内診査による歯周疾患検診を行っています。	
	H24 年度実績値	
	受診者数 受診率	895人 0.83%
むし歯予防教室	2歳頃までの幼児と保護者を対象に、歯みがき習慣の形成や良い食習慣についての集団指導を、各区保健センターで実施しています。	
	H24 年度実績値	
	実施回数 参加者数	116回 1437人
高齢者口腔ケア研修事業	医療、介護職員を対象とし、要支援・要介護高齢者の口腔状態の改善、機能の向上のための研修を行っています。 また、一般高齢者を対象とした口腔ケア講習会も実施しています。	
	H24 年度実績値	
	実施回数 参加者数	13回 683人

★妊産婦歯科健診	妊娠中あるいは、産後 1 年以内の妊産婦を対象に各区保健センターにて健診と保健指導を実施。	
	H24 年度実績値	
	実施回数	120 回
	保健指導実施数	737 人
★むし歯・歯周病予防啓発事業	むし歯・歯周病予防のために円山動物園を利用したイベントの開催や各種イベント・パネル展等を実施し、普及啓発事業を実施しています。	
★高齢者口腔機能向上事業（二次予防事業）	歯科衛生士や看護師などの専門スタッフが、食べることに欠かせない噛む力や飲み込む力を保つ方法を楽しく学ぶ教室を開催しています。	
	H24 年度実績値	
	実施回数	114 回
	参加人数（延人数）	106 人

## （7）健康行動

### 目標：自主的に健康づくりに取り組む

事業名	概要と実績
札幌市国民健康保険特定健康診査	札幌市国民健康保険に加入している 40 歳以上の人を対象とし、実施医療機関及び住民集団健診会場において、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を行っています。
	H24 年度実績値
	受診者数 受診率
札幌市国民健康保険特定保健指導	特定健康診査を受診した人のうち、生活習慣病発症の可能性が高いと判定された人を対象とし、保健師と管理栄養士などによる特定保健指導を行い、生活習慣の改善を支援しています。
	H24 年度実績値
	受診者数 実施率
胃がん検診	職域を除く 40 歳以上の方を対象に、問診、胃部 X 線撮影による胃がん検診を行っています。（北海道対がん協会、指定の医療機関）
	H24 年度実績値
	受診者数 受診率
大腸がん検診	職域を除く 40 歳以上の方を対象に、問診、免疫便潜血検査 2 日法による大腸がん検診を行っています。（北海道対がん協会、指定の医療機関）
	H24 年度実績値
	受診者数 受診率
子宮がん検診	職域を除く 20 歳以上で偶数歳の女性を対象に、問診、視診、子宮頸部細胞診、内診、（医師の判断により子宮体部の細胞診）による子宮がん検診を行っています。（北海道対がん協会、指定の医療機関）
	H24 年度実績値
	受診者数 受診率



乳がん検診	職域を除く 40 歳以上で偶数歳の女性を対象に、問診、視診、触診、マンモグラフィ検査による乳がん検診を行っています。（北海道対がん協会、指定の医療機関）	
	H24 年度実績値	
	受診者数	44,544 人
	受診率	24.1%
肺がん検診	職域を除く 40 歳以上の方を対象に、問診や胸部X線写真の読影（必要により喀痰細胞診）による肺がん検診を行っています。（結核予防会札幌複十字総合健診センター）	
	H24 年度実績値	
	受診者数	14,486 人
	受診率	2.6%
緊急肝炎ウイルス検査	札幌市に在住している方でこれまでに肝炎ウイルス検査を受けたことのない方を対象に、委託医療機関で無料の肝炎ウイルス検査を実施しています。	
	H24 年度実績値	H24 年度実績値
	受検者数	41,189 人
健康づくりネットワーク促進事業	地域の健康づくり自主活動グループなどで構成される各区の健康づくり組織の活動活性化やネットワーク化を支援するために、各区保健センターでの研修等を開催しています。	
★元気アップ応援事業	札幌市国民健康保険の特定健康診査を受けられた方で、糖尿病、高血圧症、脂質異常症の治療中のため、特定保健指導の対象とならない方を対象に、疾病の改善・重症化予防を目的に保健指導を実施しています。	
	H24 年度実績値	
	実施回数(訪問・電話) 実施人数	309 回 62 人
感染症予防対策	①感染症に関する正しい知識の普及：感染症を予防するとともに、感染症患者に対する差別や偏見をなくすため、各種パンフレットや広報さっぽろなどのほか、マスコミ報道等を通して市民に感染症に関する正しい知識の普及に努めています。 ②結核・感染症発生动向調査：結核及び感染症の患者発生数等を収集・分析の上、教育委員会、市医師会等に還元するなど、感染症流行予測と予防啓発に役立てています。また、主要感染症について札幌市分のデータに独自の分析・コメントを加え、市衛生研究所ホームページ上で公開しています。	
感染拡大防止対策	患者が発生したとき、必要に応じて保健所が感染症指定医療機関への入院勧告や特定職種への就業を制限するなどの措置を行っています。また、患者及び接触者の健康診断を行うほか、疫学調査を実施し、原因究明と感染拡大防止を図っています。	
感染症健康危機管理	感染症に関する健康危機発生時に市民の生命を守り、感染の拡大を防止するため、平成9年度に情報の収集、分析、対応策の決定などについての具体的な指針として「札幌市感染症健康危機管理実施要領」を策定し、危機のレベルに応じた対策を講じています。	
性感染症予防事業	思春期ヘルスケア事業や大学・専門学校・PTA 等を対象とした健康教育、医療機関との連携により、性感染症予防および治療に関する正しい知識の普及啓発を行っています。	
エイズ予防	①ポスター、パンフレット、リーフレットの作成や配付等による正しい知識の普及啓発を行っています。 ②保健所・保健センターでの相談窓口体制に加え、保健センターにおけるエイズ相談専用電話を実施しています。 ③世界エイズデー(12月1日)関連事業として、各種エイズ予防啓発事業を実施しています。 ④各区保健福祉部医師、看護師、保健師のカウンセリング研修等への参加を行っています。	
	H24 年度実績値	
	電話相談件数	159 件

HIV 抗体検査	保健センターで毎月2回、匿名・無料のHIV抗体検査を実施しています。また、夜間HIV検査を毎月1回、休日HIV検査を年2回実施しています。さらに、民間に運営を委託した検査センターで土曜日検査を実施しています。	
	H24年度実績値	
	受検者数	1,780人
BCG接種事業	小児結核の予防のため、予防接種法に基づき実施しています。平成25年度から予防接種法施行令の一部改正により、接種年齢が生後1歳に至るまでに変更となり、生後5か月から8か月に達するまでの期間を標準的な接種期間として定められています。本市でも同期間に接種することを奨励し、各区保健センターにおいて実施しています。	
	H24年度実績値	
	接種者数（接種率）	14,242人（98.0%）
結核の接触者健康診断	結核のまん延を防止するため、接触者等を対象として実施しています。	
	H24年度実績値	
	対象者数（受診率）	4,282人（96.1%）
予防接種事業	感染症予防のため、予防接種法に基づいて、定期予防接種を実施しています。 予防接種の種類：ポリオ、四種混合（百日せき、ジフテリア、破傷風、ポリオ）、三種混合（百日せき、ジフテリア、破傷風）、麻しん風しん混合、麻しん、風しん、BCG	
	H24年度実績値	
	接種率	麻しん風しん混合（MR）（Ⅰ期98.9%、Ⅱ期92.0%）
高齢者インフルエンザ予防接種事業	65歳以上の高齢者、または60～64歳の方で、心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障がいを持つ方（障害等級1級またはそれに準じる方）を対象に、市内の委託医療機関でインフルエンザの予防接種を実施しています。	
	H24年度実績値	
	接種者数	199,870人

## （8）親子の健康

目標：安心・安全な妊娠・出産と育児ができる

子供の頃から健康的な生活習慣を身につける

思春期の心と身体の健康づくりに取り組む

事業名	概要と実績	
思春期ヘルスケア事業	市内の小・中・高校の児童・生徒を対象とし、各区保健センターの専門職が、授業の一環として性（生命）や性感染症等に関する健康教育を行っています。	
	H24年度実績値	
	実施回数	116回
	参加人数	14,491人
若者の性の健康相談	10～20歳代の方を対象に、性や性感染症・避妊等の悩みについて各区保健センターで相談を行っています。 性感染症や避妊に関するパンフレットを市内の医療機関に送付し、指導や相談に活用するよう啓発しています。	
	H24年度実績値	
	医療機関相談件数	11,072件
	保健センター相談件数	112件
少年育成指導員による巡回・相談	思春期の子どもたちの様々な課題に対処するために、電話・面談による相談や街頭における巡回指導などを行っています。	
	H24年度実績値	
	巡回指導件数	6,092件
	相談件数	54件

子どもの権利救済機関 (子どもアシストセンター)	いじめなどの子どもに関する相談に幅広く応じるとともに、権利侵害からの救済の申し立て等に基づき、公的第三者の立場で、問題解決に向けた調査や関係者間の調整を行います。			
	H24 年度実績値			
	相談件数 (実件数)	1,197 件		
	相談件数 (延件数)	3,925 件		
妊婦一般健康診査	妊婦を対象として、「より安全で安心な出産」を迎えるために、公費負担により、14 回の健康診査を実施しています。			
	H24 年度実績値		H24 年度実績値	
	受診延べ人数	167,676 人		
妊婦甲状腺機能検査	妊婦を対象として、甲状腺機能異常の早期発見、早期治療を図るため、血液によるスクリーニング検査を市衛生研究所で実施しています。			
	H24 年度実績値			
	検査人数	9,361 人		
母子健康手帳の交付	妊娠届出書を提出した妊婦に対して、各区保健センターで交付しています。			
	H24 年度実績値			
	人 数	14,975 人		
母親教室	初妊婦およびその配偶者を対象として、各区保健センターで妊娠、出産、育児等に関する保健指導を実施しています。			
	H24 年度実績値			
	開催回数	472 回		
	参加延べ人数	8,336 人		
両親教室・父親教室	初妊婦およびその配偶者を対象として、各区保健センターで妊娠、出産、育児等に関し、主に父親の役割を中心に保健指導を実施しています。			
	H24 年度実績値			
	開催回数	39 回		
	参加延べ人数	2,667 人		
ワーキング・マタニティ スクール	働きながら出産・育児をする初妊婦およびその配偶者を対象として、働きながら妊娠、出産、育児等をするために必要な保健指導等を実施しています。			
	H24 年度実績値			
	開催回数	6 回		
	参加人数	334 人		
思春期・婚前健康教育等	家族計画、母性保護等について正しい知識の普及指導をしています。(各区保健センター)			
	H24 年度実績値			
	開催回数	7 回		
	参加人数	408 人		
離乳期講習会	乳児の母親を対象として、離乳に関する保健指導を実施しています。(各区保健センター)			
育児教室	乳幼児と母親を対象に、子どもの発育、発達に応じた育児の保健指導や情報交換を行っています。(各区保健センター)			
	H24 年度実績値			
	開催回数	442 回		
	参加人数	14,393 人		
★子育てサロン	子育て家庭が気軽に集い、自由に交流や情報交換ができる「子育てサロン」の設置を進めています。地域の関係者により運営されている地域主体の子育てサロン、児童会館等での子育てサロンに加え、週3回開催の常設子育てサロンの設置を進め、社会全体で子育て家庭を支えるまちづくりを推進しています。 ※箇所数は、25.4.1 現在			
		設置数	H24 年度開催回数	H24 年度述べ利用者数
	①地域主体の子育てサロン	181 箇所	3,189 回	117,227 人
	②常設子育てサロン	25 箇所	2,719 回	89,128 人

	③公設の子育てサロン（子育て支援総合センター、区保育・子育て支援センター）	8箇所	2,494回	132,318人
	④児童会館の子育てサロン ※児童会館での常設子育てサロン18箇所を含む	99箇所	3,439回	187,876人
★子育て講座	子育てに必要な情報を提供したり、乳幼児の心身の発達や親子のかかわりなどについて学ぶ機会を提供しています。			
		H24年度開催回数		H24年度述べ利用者数
	子育て支援総合センター	32回		923人
	区保育・子育て支援センター（7か所）	115回		2,937人
	区子育て支援係（10区）	34回		588人
★子育て相談	子育てや子どもの成長発達における心配事や悩み事などの相談について、電話または面談により行っています。			
		H24年度相談件数		
	子育て支援総合センター	645件		
	区保育・子育て支援センター（7か所）	2,685件		
	区子育て支援係（10区）	1,122件		
★次世代育成支援事業	小・中・高校生に乳幼児とのふれあいや、子育てに関する多様な体験の機会を提供し、ふれあう楽しさ、命の尊さ、男女が共に育児にかかわることの大切さなどを伝えています。			
		H24年度実績		
	子育て支援総合センター	131件	1,585人	
	区保育・子育て支援センター（7か所）	1,023件	3,593人	
	区子育て支援係（10区）	232件	13,831人	
★出前子育て相談ピンポ～んこんにちは	家庭訪問による相談を希望する子育て家庭に、子どもへのかかわり、具体的な遊び方や情報提供を行っています。			
		H24年度実績値		
	区子育て支援係（10区）	29件		
★女性の健康支援相談	妊婦、産婦を含む、思春期から更年期に至る女性を対象に、妊娠・出産・産後の健康相談、育児相談、家族計画、性や性感染症、不妊、更年期障害など女性の心身に関する相談を行っています。（各区保健センター）			
		H24年度実績値		
	開催回数	なし		
	参加人数	なし		
★保健センターでの電話相談	妊娠・出産・産後の健康相談、育児やお子さんの健康に関する相談などについて、電話相談を行っています。（各区保健センター）			
		H24年度実績値		
		18,101件		
女性のフレッシュ健診	健康診査の機会に恵まれない18歳から39歳までの家庭の主婦、自営業の女性を対象とし、札幌市中央健康づくりセンターで健康診査を実施しています。			
		H24年度実績値		
	受診者数	1,182人		
妊婦支援相談事業	妊娠届出書の提出時に面接相談を実施し、支援が必要な妊婦に対して、家庭訪問等による継続支援を実施しています。			
		H24年度実績値		
	面接相談数	14,918件		
	継続支援実施数	780件		

札幌市産婦人科救急電話相談	夜間の急な産婦人科系疾患について、毎日午後7時から翌午前7時までの間、助産師等が電話で相談を受け、必要に応じて医療機関への搬送調整を行っています。
	H24 年度実績値 電話相談件数 1,665 件
先天性代謝異常等検査	新生児を対象として、先天性代謝異常等の早期発見、早期治療を図るため出生した市内の医療機関で採血し、市衛生研究所で検査を実施しています。
	H24 年度実績値 検査人数 16,151 人
神経芽細胞腫スクリーニング検査	1歳6か月児を対象として、神経芽細胞腫の早期発見、早期治療を図るため尿によるスクリーニング検査を市衛生研究所で実施しています。
	H24 年度実績値 検査人数 9,934 人
胆道閉鎖症検査	1か月児を対象として、胆道閉鎖症の早期発見、早期治療を図るため、便色調によるスクリーニング検査を市衛生研究所で実施しています。
	H24 年度実績値 検査人数 13,555 人
4か月児健康診査	4か月児を対象として、健全育成と異常の早期発見を図るため健康診査と保健指導を実施しています。(各区保健センター)
	H24 年度実績値 人 数 14,757 人
1歳6か月児健康診査	乳児から幼児への移行期にあたり、身体・精神および行動発達状況をチェックするとともに、育児指導、歯科健診を実施しています。(各区保健センター)
	H24 年度実績値 人 数 14,399 人
3歳児健康診査	幼児期における身体および精神の発達状況をチェックするとともに歯科健診、保健指導を実施しています。(各区保健センター)
	H24 年度実績値 人 数 13,980 人
乳幼児健康診査	健全育成を図るため、10か月児および経過観察を要する乳幼児に対し、健康診査と保健指導を実施しています。(各区保健センター)
	H24 年度実績値 人 数 13,916 人
乳児・1歳6か月児・3歳児精密健康診査	健康診査の結果、精密健診を要する乳児・1歳6か月児および3歳児に対し、市内の医療機関に委託し、実施しています。
	H24 年度実績値 人 数 2,804 人
母子保健訪問指導	妊産婦、未熟児、新生児等を対象として、各区保健センター職員及び母子保健訪問指導員により家庭訪問を行い、必要な保健指導を実施しています。
	H24 年度実績値 妊産婦 13,846 件 新生児 4,396 件 未熟児 1,256 件
乳幼児精神発達相談	言語・情緒発達に心配のある乳幼児とその親に対し、子どもの発育・発達を促すとともに、良好な親子関係の構築と育児不安の軽減を図るため、各区保健センターにおいて個別の発達相談を行っています。
	H24 年度実績値 延べ件数 2,089 件

保健と医療が連携した育児支援ネットワーク事業 (育児支援家庭訪問事業)	市内の医療機関において、「育児支援が必要」と判断された親子に対し、医療機関と保健センターが連携を図りながら育児不安の軽減および児童虐待発生予防のために家庭訪問等による育児支援を行っています。	
	H24 年度実績値	
	実施件数	711 件
★ 小児慢性特定疾患児等療育相談支援事業	慢性疾患にかかっていることにより長期療養を必要としている子どもやその家族に対し、療養上や日常生活上の悩みや不安などについての相談や助言、福祉サービスなどの情報提供を行っています。(各区保健センター)	
	H24 年度実績値	
	相談件数	100 件
札幌市要保護児童対策地域協議会	児童虐待予防・防止に関して活動している関係機関を集め、情報の共有化、事例検討等を行い、連携の強化を図っています。(児童福祉総合センター)	
	H24 年度実績値	
	開催回数	1 回
区要保護児童対策地域協議会	各区健康・子ども課家庭児童相談室において、児童虐待予防・防止、早期発見および虐待事例への円滑な支援を行う地域ネットワークを構築するため、関係機関代表者による連絡調整会議、事例検討会、研修会等を行っています。	
	H24 年度実績値	
	開催回数	200 回
オレンジリボン地域協力員養成事業	児童虐待の早期発見・早期対応を図るため、民生委員児童委員、主任児童委員、青少年育成委員、一般市民等を対象に研修会を開催し、オレンジリボン地域協力員の養成を行っています。(児童福祉総合センター)	
	H24 年度実績値	
	研修会実施回数	45 回
	新規登録者数	1,396 人
夜間急病センター事業	夜間(午後7時から翌朝午前7時の間)の急病患者の応急処置を行っています。小児科においては、患者の集中する土・日・祝日・年末年始の準夜帯(午後7時から午前0時までの間)に医師を増員するなど、診療面を強化しています。 《夜間急病センター》住所:札幌市中央区大通西 19 丁目 WEST19 1 階	
休日救急当番運営事業・二次救急医療機関運営事業	土日祝日などの休日における初期救急医療体制や、より大きなけがや病気の際に休日及び夜間に対応する二次救急医療機関の調整を行い、市民が安心して生活できる確実な救急医療体制の整備を行っています。	
★さっぽろ・こども広場	保健センター等から紹介された発達に気にかかる子どもに対して、保健センターや児童会館などの地域の会場で月 1 回または週 1 回、専門スタッフ(保育士・心理療法士)が小集団での遊びを通して子どもの発達を促し、保護者の悩みや相談に応じています。また、保護者に必要な情報を提供し、個々の子どもの適切な進路をともに考えています。	
	H24 年度実績値	
	出席者数(実)	1,653 人
	出席者数(延)	8,952 人
幼児教育相談	就学前の幼児の発達上の問題、幼稚園等における適応上の問題、保護者の子育ての悩み、小学校入学などに関する教育相談を来所および電話で行っています。(市幼児教育センター)	
	H24 年度実績値	
	来所相談	1,198 件
	電話相談	1,906 件
教育相談	不登校や特別支援教育に関わる教育相談を来所および電話で行っています。(市教育センター)	



	H24 年度実績値	
	来所相談件数	4,654 件
	電話相談件数	1,398 件
<b>教育支援センター設置事業</b>	学校に通うことが難しい子どもに対応するため、学校以外の場における子ども支援のあり方を調査研究し、子どもが抱えている不安や悩み等を和らげる居場所を設置します。(平成 23 年度から平成 26 年度に実施。平成 25、26 年度に 1 か所ずつ、計 2 か所に設置予定)	
<b>ポロップひろば(未就学児の子育て広場)</b>	各区市立幼稚園にて、就学前の子ども(主に 2～6 歳児)と保護者を対象にした子育て広場。月 1～2 回(開催日、開催時間は各幼稚園ごとに違う)園庭や園舎で親子で遊ぶことができ、その中で子どもとのかかわり方や就園、就学に向けた教育相談も行っています。(平成 24 年度開始)	
	H24 年度実績値	
	参加者数	8,828 人

## (9) 健康を支え守るための社会環境の整備

### 目標：市民の健康被害を防ぐ

事業名	概要と実績	
★さっぽろ医療ガイド	市民に札幌市の医療体制を周知し、医療に関する相談窓口などを案内する「さっぽろ医療ガイド」を作成します(平成 25 年度中に発行)。	
★医療アドバイザー制度	医療機関のかかり方など、市民の医療に関する相談ニーズに対応するため、専門家等を医療アドバイザーとして登録し、地域における自主的な学習会などに派遣します(平成 26 年度までに実施)。	
★救急安心センターさっぽろ	救急安心センターさっぽろを、平成 25 年 10 月に開設します。 センターでは、看護師などの医療相談員が、24 時間 365 日、市民からの救急医療相談に電話で対応し、緊急度判定によって消防局(119 番)への電話転送や、最寄りの医療機関を案内したりします。	
★医療安全相談窓口の運営	既存の医療安全相談窓口を充実し、医療安全に関する市民への情報提供や相談機能、普及啓発を強化します。	
	H24 年度実績値	
	相談受付件数	1,389 件
★薬物乱用防止の推進	一般社団法人札幌薬剤師会等との連携により、市民に対して薬物乱用防止に関する啓発を行います。	
★環境衛生対策	市民の健康で快適な暮らしを守るため、市民が利用する建築物や環境衛生関係施設(公衆浴場、旅館、理・美容所など)の衛生状態の維持・向上を図ることを目的として、年度ごとに事業計画を策定し、効率的かつ重点的な立入検査等を行っています。また、住まいの衛生を含めた環境衛生に関する市民相談や普及啓発事業に取り組んでいます。(保健所)	
	H24 年度実績値	
	住まいの衛生展	2 回
	環境衛生営業施設への講習会等	13 回
札幌市公共建築物シックハウス対策	札幌市の公共建築物の管理に携わる職員等に対し、「札幌市公共建築物シックハウス対策指針」の遵守を徹底するとともに、同指針に関する説明会を毎年実施しております。	
	H24 年度実績値	
	説明会開催回数	1 回
	参加者数	121 人

市民相談事業	保健所では、家庭、地域等における食の安全や良好な生活環境を確保するため、種々の市民相談を実施しています。	
		H24 年度実績値
	食品衛生関係相談件数	3,397 件
	環境衛生関係相談件数	3,793 件
食の安全確保対策	<p>①食の安全を確保するため、年度ごとに市民等の意見を取り入れた「札幌市食品衛生監視指導計画」を策定し、効率的かつ重点的な立入検査や衛生講習会等を行っています。</p> <p>②食品衛生パネル展や食中毒予防に関するパンフレット等により市民に対し正しい食品衛生知識の普及啓発を行っています。</p> <p>③食の安全・安心市民交流事業の開催等により、市民や食品事業者と食の安全確保に関する情報や意見の交換を行っています。</p>	